

2023(令和5)年度

学生募集要項

大学院複合芸術研究科

修士課程

推薦入試・一般選抜

【注意】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、募集要項に記載の実施方法とは異なる方法で選抜を行う場合がありますので、最新の情報は大学ウェブサイトを確認してください。

秋田公立美術大学

AKITA UNIVERSITY OF ART

複合芸術研究科複合芸術専攻（修士課程）学生募集日程

1 推薦入試

試験区分	一般推薦
募集人員	若干名 ※注
出願期間	2022年7月25日(月)～8月2日(火)
一次選考	一次選考（書類審査）は免除とする。
二次選考	2022年9月3日(土) ※オンライン 13:00～18:00 面接
合格発表	2022年9月14日(水)
入学手続期間	2022年11月18日(金)～11月25日(金)

※注 募集人員は、一般選抜募集人員の内数とする。

2 一般入試

試験区分	一般選抜	
	第1期募集	第2期募集
募集人員	複合芸術研究科 複合芸術専攻 10名 ※注	
出願期間	2022年10月6日(木)～10月13日(木)	2023年2月1日(水)～2月6日(月)
一次選考	書類審査 一次選考（書類審査）において二次選考へ進むことを認めた者には受験票を送付する。	
二次選考	2022年11月5日(土) ※オンライン 10:00～12:00 グループディスカッション 13:00～18:00 面接	2023年3月4日(土) 10:00～12:00 記述試験 13:00～18:00 面接
合格発表	2022年11月14日(月)	2023年3月10日(金)
入学手続期間	2022年11月18日(金)～11月25日(金)	2023年3月13日(月)～3月17日(金)

※注 募集人員は、一般推薦と一般選抜（第1期および第2期）を合計した人数である。

入学志願者は、第1期と第2期のいずれか、または両方を受験することができる。

複合芸術研究科複合芸術専攻（修士課程）概要

■教育目的及び入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

（受入の基本方針）

本研究科は、次のような目的意識を持った学生を受け入れます。

- ① 新しい芸術を探求する意欲のある人
- ② グローバルな視野と地域への視点を併せ持つ人
- ③ 他者と協働しながら主体的に制作や研究に取り組める人

（入学前に修得しておくことを期待する内容）

- ① 自身の専門分野における知識や動向に関する理解
- ② 研究内容を的確に他者へ伝えることのできる表現力
- ③ 地域や社会で生じている課題に対する思考力

（求める人材像）

1 一般選抜

芸術を通じて、新たな価値や社会的課題に取り組む意欲のある人を求めます。

2 一般推薦

大学等において優れた成績を修め、芸術を通じて、新たな価値や社会的課題に取り組む意欲のある人を求めます。

■教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

本研究科は、ディプロマ・ポリシーに基づく研究・教育の成果をめざし、複合芸術の対象領域をアート、デザイン、芸術学の3分野でとらえ、理論と実践から成る多様な複合の概念を踏まえた実践的なカリキュラムを、以下にカリキュラム・ポリシーとして示します。

- ① 教育課程は、複合芸術科目、複合芸術実践科目、制作技術演習科目、特別研究科目から構成します。
- ② 複合芸術科目は、複数の研究分野を領域横断的に学ぶことで、複合芸術の多様な研究視点を獲得し、主体的に新しい芸術を探求・創造していくための論理的能力を養います。
- ③ 複合芸術実践科目は、複合芸術の専門性を芸術と社会をつなぐ媒体としてとらえ、地域と社会との関わりにおいて問題点を発見し、解決に導く実践力・発信力を養います。
- ④ 制作技術演習科目は、研究活動の実践を支える素材・媒体・技法・理論を修得し、新しい芸術を探求・創造するための技術を養います。
- ⑤ 特別研究科目は、個々が設定したテーマを継続的に研究することで、広く社会に応用できる企画力、構想力、計画力を養います。

(学習成果の評価)

学習成果は、演習・実習科目における時間外制作活動も含めた成果をもって評価します。また、授業の到達目標や内容、成績評価方法・基準等をシラバスで明示し、厳正で客観的な成績評価を行います。

■学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

本研究科は、大学の理念に基づき以下の能力を備え、かつ所定の単位を修得した学生に対して、修士（美術）の学位を認定します。

- ① 異なる分野を複合させながら、既存の枠にとらわれない新しい芸術を探求・創造する能力
- ② 現代社会の動向や地域特性をとらえ、アート・デザイン・芸術学の方法論を通じて問題解決へつなげ、具体的な提案ができる能力
- ③ グローバルな視野をもちながら、アート・デザイン・芸術学の研究や実践を評価・検証し、その成果を広く社会と連携し情報発信する能力

■研究科名及び学位

研究科名：複合芸術研究科[Graduate School of Transdisciplinary Arts]

専攻名：複合芸術専攻[Course of Transdisciplinary Arts]

学位：修士（美術）[Master of Art]

■複合芸術科目担当教員一覧

専 門	指 導 教 員
現代美術／アートプロジェクト／ アートマネジメント	藤 浩 志 教授
インスタレーション／映像／ 多文化芸術調査	岩 井 成 昭 教授
インテリアデザイン／ファニチャーデザイン ／プロダクトデザイン	今 中 隆 介 教授
アーバンスタディーズ／地域資源マネジメ ント／東南アジア地域研究	岸 健 太 教授 (研究科長)
情報学フロンティア／計算基盤／地理学	飯 倉 宏 治 教授
アートマネジメント／コミュニティとア ート／アートとレジリエンス	曾 根 博 美 教授
芸術人類学／神話学	石 倉 敏 明 准教授
映像／メディアアート	萩 原 健 一 准教授
哲学／文化人類学	唐 澤 太 輔 准教授
美術批評	福 住 廉 准教授
映画製作	石 山 友 美 准教授

※より幅広い研究領域をサポートするため、上記教員以外の本学教員による指導も可能
とじています。秋田公立美術大学教員については、本学ウェブサイト内、大学教員の
紹介ページを参照してください。

複合芸術研究科複合芸術専攻（修士課程）学生募集要項

1 募集人員

複合芸術研究科複合芸術専攻 10名

2 標準修業年限

2年

3 出願資格

【一般推薦】

次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 2023年3月に大学を卒業見込みの者で、かつ、学業成績、人物ともに優れ、出身大学の学長（学部長）から推薦され、合格した場合には入学を確約できる者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定（大学改革支援・学位授与機構）により学士の学位を2023年3月までに授与される見込みの者で、かつ、学業成績、人物ともに優れ、出身校の長等から推薦され、合格した場合には入学を確約できる者

【一般選抜】

次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 学校教育法第83条の大学を卒業した者および2023年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定（大学改革支援・学位授与機構）により学士の学位を授与された者および2023年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2023年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2023年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2023年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者および2023年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると本大学院において認めた者
- (9) 本大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2023年3月31日までに22歳に達する者

※出願資格(8)、(9)により出願を希望する者は、出願資格認定審査の手続きを要するため、必ず事前に学生課に申し出て、指示を受けたうえで、第1期募集においては2022年9月5日(月)までに、第2期募集においては2022年12月28日(水)までに必要書類等を提出してください。

- ・出願資格(1)～(5)に該当する者は、本学においては、学士の学位またはそれに相当する学位を授与された者及び2023年3月31日までに授与される見込みの者とする。
- ・出願資格(3)について、外国において学校教育における16年未満の課程(出願資格(4)の課程を除く)を修了した後、16年を満たす課程に進んだ場合、その課程を修了し、学士の学位またはそれに相当する学位が授与される、もしくは授与される見込みでなければならない。

4 出願書類等(必要書類の所定様式は全て大学ウェブサイトからダウンロード出来ます。)

	出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意	推 薦	一 般
(1)	入学志願票・受験票・研究計画書	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の用紙を使用し、必要事項をきれいに黒のペンかボールペンで記入してください。 ・写真欄に3か月以内に撮影した無帽上半身のものをご貼付してください。 ・研究計画書はパソコン等による作成を可とします。所定様式は本学ウェブサイトからダウンロードできます(フォントサイズは9~11ポイントとしてください)。 	○	○
(2)	出願資格を証明する書類および成績証明書等	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学の卒業(見込)証明書および成績証明書 ・出願資格(2)により出願する者については学位授与機構が発行した学士の学位授与証明書、授与見込みの者は学位授与機構が発行した学士の学位授与申請受理証明書、および基礎資格となる学校の成績証明書を提出してください。 ※外国語の証明書は、英語訳または日本語訳を添付してください。 	○	○
(3)	入学検定料納付証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料17,000円を本学所定の入学検定料振込用紙を使用して金融機関で振り込み後、入学検定料納付証明書(大学提出用)を入学志願票の所定の貼付欄に貼付してください。 	○	○
(4)	受験票等返送用ラベル	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の受験票等返送用ラベルに、受験票送付先の住所、郵便番号、氏名等を記入してください。 	○	○
(5)	書類審査等関係書類 ※一般推薦においては書類審査を免除するため、面接時の参考資料として使用します。	<ul style="list-style-type: none"> ・書類審査等を行うための資料を以下の①~②から一つ以上選択して提出してください。また、作品・論文1点に対し別添の「一次選考(書類審査)提出作品・論文等添付用紙」を必ず貼付してください。併せて、PDFデータをメールに添付し、件名に氏名と作品・論文名を記載したうえでrenraku@akibi.ac.jpに送付してください。 ① ポートフォリオ 過去5年以内に制作した作品の写真、資料等を3~5点までまとめたもの。ポートフォリオの大きさはA4版、またはA3版とし、各作品に関する解説文を付すこと。なお、実作品はポートフォリオとして認めない。映像作品を提出したい場合は、予め受験者自身が適切と思われる方法を選択し、ウェブ上にアップロードの上、確認できるURLを送付すること。様式は自由。 ※一般推薦においては、大学在学中の作品・研究や活動をまとめたものを提出すること。 ※返却を希望する場合は、(4)の封筒とは別に、返却用の着払い伝票(郵便番号、電話番号、住所、宛名を記載したもの)を提出書類に同封すること。その際は伝票番号を控えておくこと。 ② 論文 過去3年以内に執筆したもの。卒業論文、または同等の論文。部数は2部で2,000字程度の要旨を添付すること。 ※2023年3月に卒業見込みの者は、研究分野に関する論文、もしくは卒業論文(草稿可)。部数は2部で2,000字程度の要旨を添付すること。 ※外国語の論文を提出する場合は、2,000字程度の日本語の要旨をつけて提出すること。 	○	○

	出願書類	出願書類作成上の注意	推薦	一般
(6)	推薦書	本学所定様式を使用し、出身大学の学長(学部長)が発行したものを、厳封した上で提出してください(ワープロソフト等による印字可。所定様式は、大学ウェブサイトからダウンロードできます)。	○	×
(7)	在留カード等 ※外国人留学生のみ	日本に居住している外国人留学生は、在留カード(表裏両面)または外国人登録証明書の写しを提出してください。 在留カードを持っていない場合は、パスポートの写し(顔写真、氏名が記載されているページ)を提出してください。	該当者	該当者
(8)	日本語能力に関する証明書 ※外国人留学生のみ	外国人留学生は、次のいずれかの書類を提出してください。なお、日本の大学を卒業、卒業見込の者は除きます。 ・「日本語能力試験(JLPT)」の認定結果および成績に関する証明書の原本(N2または2級以上と同等程度が望ましい)。 ・「日本留学試験(EJU)」の受験票の写しまたは成績通知書の写し(日本語(読解、聴解および聴読解の合計)200点以上を取得していることと同等程度が望ましい)。	該当者	該当者

※入試区分毎に「○」の付されている出願書類を提出してください。(「該当者」が付されている箇所は対象者のみ提出してください。)

5 出願受付期間

一般推薦		2022年7月25日(月)～8月2日(火)(必着)
一般選抜	第1期募集	2022年10月6日(木)～10月13日(木)(必着)
	第2期募集	2023年2月1日(水)～2月6日(月)(必着)

※郵送による出願は、出願締切日必着とします。直接持参する場合の受付時間は、午前9時から午後5時までとします(土曜、日曜、祝日を除く)。

6 出願提出方法

出願書類一式を本学大学院ホームページ(<https://www.akibi.ac.jp/daigakuin/>)からダウンロードし、必要事項を記入の上、任意の封筒の表紙に【**大学院出願書類在中**】と朱書きし、書類審査関係書類(ポートフォリオ又は論文)と一緒に**書留速達郵便**で郵送するか、直接持参してください。また、書類審査関係書類(ポートフォリオまたは論文)はPDFデータでも提出(renraku@akibi.ac.jp)すること。

〔送付先〕〒010-1632 秋田市新屋大川町12番3号

秋田公立美術大学事務局学生課 TEL: 018-888-8105

7 一次選考(書類審査)結果の通知

上記の出願を行った者のうち、本学大学院が、受験資格を有すると認定し、一次選考(書類審査)において二次選考へ進むことを認めた者には二次選考受験票を送付します。また、一次選考において不合格となった者には、その旨を通知します。

なお、推薦入試出願者については、一次選考(書類審査)は免除となります。

8 試験日程および試験内容

		出願期間および試験日時		試験内容および試験方法
一般推薦	二次選考	2022年9月3日(土)	13:00~18:00	面接(オンライン) 冒頭に自らの作品や研究計画に触れながら5分程度のプレゼンテーションを行う。 その後、15分程度の質疑応答を行う。 ※出願時に提出された書類についての質疑も行う。
第1期募集	一次選考	出願期間 2022年10月6日(木) ~10月13日(木)	書類審査	①ポートフォリオ 過去5年以内に制作した作品の写真、資料等を3~5点までまとめたもの。 ※A4版、またはA3版とする、解説文を付すこと ②論文 過去3年以内に執筆した卒業論文、または、同等の論文。※2,000字程度の要旨を添付 ※2023年3月卒業見込みの者は、研究分野に関する論文、もしくは卒業論文(草稿可)。 ※ <u>作品・論文1点に対し別添の「一次選考(書類審査)提出作品・論文等添付用紙」を貼付してください。</u>
	二次選考	2022年11月5日(土)	10:00~12:00 13:00~18:00	グループディスカッション(オンライン) テーマに基づく討論を行う。 面接(オンライン) 冒頭に自らの作品や研究計画に触れながら5分程度のプレゼンテーションを行う。 その後、15分程度の質疑応答を行う。
第2期募集	一次選考	出願期間 2023年2月1日(水) ~2月6日(月)	書類審査	①ポートフォリオ 過去5年以内に制作した作品の写真、資料等を3~5点までまとめたもの。 ※A4版、またはA3版とする、解説文を付すこと ②論文 過去3年以内に執筆した卒業論文、または、同等の論文。※2,000字程度の要旨を添付 ※2023年3月卒業見込みの者は、研究分野に関する論文、もしくは卒業論文(草稿可)。 ※ <u>作品・論文1点に対し別添の「一次選考(書類審査)提出作品・論文等添付用紙」を貼付してください。</u>
	二次選考	2023年3月4日(土)	10:00~12:00 13:00~18:00	記述試験 テーマに基づく記述試験2問、英語試験1問。 ※以上3問から2問を選択 面接 冒頭に自らの作品や研究計画に触れながら5分程度のプレゼンテーションを行う。 その後、15分程度の質疑応答を行う。 ※パソコン等の機器をプレゼンテーションに使用する場合は、各自持参してください。データでの持ち込みの場合は、事前に事務局学生課に相談してください。

※面接試験（オンライン面接を除く）会場に常備している機器等

- ・プロジェクタ（解像度 WXGA（1280×768pixel）程度）
- ・スピーカ（PC 用小型スピーカ）
- ・コンピュータとプロジェクタを接続するケーブル（HDMI ケーブル）持参したコンピュータから HDMI ケーブルに接続する変換コネクタは、各自で用意してください。
- ・コンピュータとスピーカを接続するケーブル（3.5mm ステレオミニジャックケーブル）

※プレゼンテーションで使用するコンピュータ等とプロジェクタとの接続テスト（任意）

- ・受験者控室にプレゼンテーション会場と同じ接続環境を用意します。希望者は持参したコンピュータ等を接続し、投影等の確認をすることができます。
- ・ネットワーク接続環境は用意していないので、各自準備するかローカルで動作するようにデータを作成してください。
- ・プレゼンテーションで使用する機器の接続や設定は、各自で行ってください。

9 選抜方法

一般推薦	面接、研究計画書および研究概要、成績証明書等を総合して判定します。
一般選抜（第1期）	グループディスカッション、面接および研究計画書、成績証明書等を総合して判定します。
一般選抜（第2期）	記述試験、面接および研究計画書、成績証明書等を総合して判定します。

10 試験場所

一般推薦	オンライン
一般選抜（第1期）	
一般選抜（第2期）	秋田公立美術大学（秋田市新屋大川町12番3号）

11 合格発表

一般推薦	2022年9月14日(水) 午前10時(予定)
一般選抜（第1期）	2022年11月14日(月) 午前10時(予定)
一般選抜（第2期）	2023年3月10日(金) 午前10時(予定)

本学ウェブサイトに掲載します。また、合格者には文書で通知します。電話による問合せには一切応じません。

12 入学手続期間

一般推薦	2022年11月18日(金)～11月25日(金) (必着)
一般選抜(第1期)	2022年11月18日(金)～11月25日(金) (必着)
一般選抜(第2期)	2023年3月13日(月)～3月17日(金) (必着)

※直接持参する場合の受付時間は、午前9時から午後5時までとします。(土曜、日曜を除く)

※入学手続時に提出された書類および納入された入学金は返還しません。

13 入学金・授業料

(1) 入 学 金 秋田市内居住者 282,000円 } (入学手続時に納入)
 上記以外の者 423,000円 }

(2) 授 業 料 年額 535,800円(前期、後期に分割し、5月および10月の末日に納入)

※「秋田市内居住者」とは、本学入学の1年前から引き続き秋田市内に住所を有する者という(その配偶者または1親等の親族がこれに該当する者を含む)

14 その他の納入金(予定)

(1) 傷害保険等(2年分) 2,430円

(2) 後援会費(2年分) 40,000円

※所要見込額は上記のとおりですが、改定される場合があります。

15 入学検定料の返還請求について

既に納入された入学検定料は、次の場合に限り返還します。該当する場合は、下記の請求方法に従って請求してください。

返還できる場合	返還額
(ア)入学検定料を納付したが、出願書類を提出しなかった場合	17,000円
(イ)入学検定料を二重に払い込んだ場合	17,000円
(ウ)出願が受理されなかった場合	17,000円
(エ)出願受付後に出願無資格者であることが判明した場合	13,000円

※実際の返還額は、振込手数料を差し引いた額となります。

(1) 請求方法

大学ウェブサイトから本学所定の「入学検定料返還申出書」をダウンロードして、必要事項を記入の上、払込済みの「振込金受取書」を同封の上、送付してください。

〔送付先〕〒010-1632 秋田市新屋大川町12番3号

秋田公立美術大学 事務局学生課 宛

※封筒には「入学検定料返還申出書在中」と朱書きしてください。

(2) 請求期間

返還請求は出願期間終了から1週間以内に行ってください。請求書類の受領後、返還金の振込みまでは約1か月かかります。

16 試験成績の照会

受験者本人からの照会に対してのみ回答します。希望者は、下記の期間に本学受験票（コピー不可）と本人確認ができるもの（免許証、健康保険証、パスポートなど）を郵送または持参してください（一次選考不合格者は受験票不要）。

郵送の場合は、本学受験票（コピー不可）と本人確認ができるもの（同上）のコピー、長形3号の返信用封筒（受験者本人の郵便番号、住所、氏名を記載し、84円分の切手を貼付したもの）を同封のうえ、照会してください。

※請求期間：2023年5月1日(月)から5月31日(水)まで（土曜、日曜、祝日を除く）

17 個人情報の取扱い

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、「公立大学法人秋田公立美術大学個人情報保護規程」に基づき、次のとおり取り扱います。

- (1) 出願書類に記載された個人情報については、①入学者選抜（出願処理および選抜実施）、②合格発表、③入学手続き業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜の試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料作成のために利用します。
- (3) 入学者の個人情報については、①教務関係業務（学籍、修学指導等）、②学生支援関係業務（奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

18 受験上の注意事項

(1) オンライン試験

- ・試験は、オンライン会議システム Zoom を使用して実施します。あらかじめ必要なアプリケーション（最新のもの）をダウンロードしてください。
- ・パソコン等の通信機器とインターネットに接続できる環境を用意し、試験時には個室で受験者のみに対応するような環境を整えてください。事前に接続テストを行いますので、その際も同じ環境で行ってください。
- ・試験に使用できる通信機器は1台とし（緊急時を除く）、試験中は電源に接続するか、事前に充電を行い、試験中に電源が切れることのないようにしてください。
- ・試験の接続時間は本学が指定し、決まり次第受験者へ連絡します。
- ・試験当日は、指定時刻にオンライン会議に接続できるよう余裕を持って待機してください。
- ・試験当日は、本学受験票を携帯してください。
- ・試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。やむを得ない事情により遅刻した場合は、直ちに大学に申し出てください。
- ・試験中は監督者の指示に従うこと。
- ・試験中の録画・録音は禁止します。
- ・通信機器が接続不可能となった場合は大学と連絡をとり、指示を仰いでください。
- ・試験中に不正行為が発覚した場合は失格となります。
(不正行為の例：受験者以外の者の協力や試験内容を第三者へ公開できる状態にする等の円滑な試験実施を阻害すると見なされる一切の行為)

(2) オンライン試験以外の試験

- ・試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。やむを得ない事情により遅刻した場合は、係員に申し出て指示を受けてください。
- ・試験室に入室してから試験終了までは、退室できません。
- ・試験時間中に休憩時間がある場合、休憩時間であっても試験会場外に出ることができませんので、あらかじめ昼食を持参してください。
- ・携帯電話、スマートフォン等の電子機器類は、不正防止のため必ず電源を切り、かばん等にしまってください。係員の指示があった後に電子機器類をかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っている、不正行為となることがあります(休憩時間を含む)。
- ・配付された問題冊子は試験室から持ち出すことはできません。

(3) 共通

- ・受験票が試験日 7 日前になっても到着しない場合は、本学事務局に問い合わせてください。
- ・受験票は入学手続の際に必要となりますので、試験後も保管しておいてください。

19 交通アクセス・キャンパスレイアウト



大学までの交通機関

- ・バス 秋田駅西口バスターミナル ⑦番のりば
秋田中央交通バス「新屋線」 美術大学前下車（乗車約25分） 徒歩1分
- ・鉄道 JR秋田駅下車 秋田駅西口から秋田中央交通バス乗り換え
JR秋田駅から羽越本線「新屋駅」下車 徒歩15分
- ・航空機 秋田空港から リムジンバス 秋田駅西口下車（乗車約45分）
秋田駅西口から 秋田駅西口バスターミナル ⑦番のりば
秋田中央交通バス「新屋線」 美術大学前下車（乗車約25分） 徒歩1分
又はJR秋田駅から羽越本線「新屋駅」下車 徒歩15分
- ・自動車 秋田自動車道 秋田南ICから約15分

秋田公立美術大学

〒010-1632 秋田市新屋大川町12番3号

TEL 018-888-8105 FAX 018-888-8101

<https://www.akibi.ac.jp>